

# ふたみきた

令和元年（2019）7月1日

7月号

明石市立二見北小学校  
学校だより 第436号



愛するということ 命ということ 「命の週間」

校長 赤松 弘一

今年は近畿の梅雨入りが遅くなりましたが、おかげでいろんな行事がお天気に恵まれました。6月27日のオープンスクールは、雨模様のお天気でしたが、多数の方にご来校いただきました。本当にありがとうございました。北っ子たちの普段の学校生活をご覧になられて、お気付きになったことなどありましたら遠慮なくお知らせください。よろしくお願いいたします。

二見北小学校では先週から「命の週間」を設けています。子どもたちは道徳の時間などを通して「命・生きること」の大切さを学んできました。最近、人の命が簡単に失われてしまう事件や事故が報道されています。人と人が些細なことでのいがみ合い、言い争い、果ては暴力に訴え、自分の意に沿わないものを排除しようとする。寛容や思いやりとは反対の荒んだ悲しい現状です。国と国の関係も同じように見えます。名も知らぬ顔も知らぬ人を、他国であるだけの理由で恨み蔑み、果ては命を奪いあう戦争にまで発展してしまう場合があります。

川で溺れている人、電車が近づく線路に落ちた人を見つけた時、自分の危険も振り返らずに助けようと行動する人がいます。人にはそんな特性が本能としてあるそうです。これは瞬間的な反射行動で、後に助けた人に聞くと「あの時は考える前に行動していた」と言います。あれこれ時間をかけて考えると利己的な心が働いて、このような行動になりにくいそうです。人はもともと自分だけでなく、他者の命も大切にしようとする、思いやりの備わった生き物なのです。誰もが他者のことを思いやり愛し、自分の命をも輝かせる、それが本来の人間の姿なのですね。

さて、昨年度から、本校では地域ぐるみで子どもの健やかな成長を支援するためのコミュニティ・スクールの取り組みを行っています。学校の教育活動を地域の皆様、保護者の皆様に広く知っていただくために、児童のために実施される下記の出前授業をオープン化します。お気軽にご参加ください。詳しくはCSだより「来てみて見に来て北小」をご覧ください。

9月13日（金）9：40～ 4年生 二見消防署による介護学習 （コミセン）  
9月20日（金）9：40～ 3～6年生 安全なネット講演会 （体育館）  
9月27日（金）10：45～ 4年生 ボランティアによる手話体験 （コミセン）  
★参加を希望される場合は、電話・ファクスでのお申し込みをお願いします。

1学期も間もなく終わり、梅雨明けの眩しい陽射しとともに子どもたち待望の夏休みになります。保護者の皆様には今学期も何かとご協力いただきありがとうございました。2学期は8月26日（月）から始まります。ご家庭におかれましては、2学期に向けての子どもたちの準備に加えて、「早寝、早起き、朝ごはん」の規則正しい生活習慣の継続にご協力いただき、元気に2学期が始めますようお願いいたします。

## 今月の予定



日	曜	行事
3	水	命の集会 6年放送音読 Fタイム（サークル）
4	木	5年放送音読 4年校外学習 2年きらきらの会
5	金	4年放送音読 3年トウモロコシ皮むき体験
8	月	3年放送音読 3年出前授業
9	火	2年放送音読 代表委員会
10	水	1年放送音読
11	木	6年・4年・わかばきらきらの会
12	金	子ども安全の日
15	月	海の日
16	火	個人懇談会 スクールカウンセラー来校
17	水	給食最終日 5年出前授業 個人懇談会
18	木	学期末大掃除
19	金	終業式
22	月	夏季休業日（～8/25）

### 夏季休業中の予定

水泳教室・チャレンジ教室：7月23日（火）～25日（木）

きらきらの会図書イベント7月31日

学童水泳記録会：8月5日（月） 学校閉庁日8月13～15日

2学期始業式：8月26日（月） 給食開始 8月29日

図書室開放 プール開放 学童水泳記録会練習 については別途お知らせします。

## 二見中 トライやるウィーク 6月3日～6月7日

二見中学校の2年生が、トライやるウィークを母校である二見北小学校で実施しました。1、2年生やわかば学級と一緒に楽しく勉強したり学校の外に探検に行ったりしました。6年生には中学校生活について、先輩としてメッセージを送っていました。又、プール清掃などに参加し、積極的に活動する姿が見られました。



# 命の週間

6月24日からの命の週間に、道徳の授業などで命の大切さについて学びました。北っ子の感想を紹介します。

ほっぺたをさわると、ぷにぷにしています。かみのけは、さらさらしています。からだは、あたたかいです。いきているからしょうがっこうへいけるし、おべんきょうもできます。たのしくかんがえることもできます。ともだちともなかよくあそべます。まいにち、こころが、わくわくします。

(1-2) 『生きているじぶん』

いのちは大せつなものだとわかりました。かっちゃん、小さいときほいくきに入っていました。でも、まわりの人たちのおかげで、小さかったかっちゃんはぐんぐんせいちょうしました。むかしのわたしも体が小さくて、じょうぶではありませんでした。今は、せが高くじょうぶになりました。どうしてせいちょうできたのかと考えると、かぞくがいつもわたしのことをまもってくれているからだ気づきました。がんばってうんでくれたお母さんにもかんしゃの気持ちです。まわりの人をかなしませないように、たった一つしかない自分のいのちを大切にまもっていきたいと思います。

(2-1) 『いまのぼく、むかしのぼく』

わたしは、自分だけでなく、友だちや家族などまわりの人の命もとても大切だということを勉強しました。光祐くんは白血病という重い病気でした。私は病気なら走らない方がいいと思います。でも、光祐くんはみんなと同じことをやってみたくらいと思い、運動会の50メートル走に出ました。自分がどうしたいかを考えて行動した光祐くんの生き方はすてきだと思います。これからは光祐くんのように、自分がどうしたいかを考えながら一日一日を大事にして、もっといろいろなことをしていきたいです。そしてこれからも、自分だけでなく、友だちや家族などまわりの人の命も大切にしていきたいです。

(3-2) 『光祐くんのアサガオ』

わたしは命の勉強をして、せいいっぱい生きることの大切さを知りました。ゆきなさんは、ずっと重い病気、11才の時に書いた詩を残して空に行ってしまいました。命を自分でそまつにする人もいますが、その詩で、一日一日を大切に楽しく生きたり、苦しいことがあってもがんばって生きたりすることが大切だと教えてくれました。これを勉強して、命は一人に一つしかなく、取りかえられない大切なものだから、自分から命をそまつにすることなく、最後までせいいっぱい生きようと思いました。

(4-3) 『命 せいいっぱい生きる』

ぼくは、この学習でお母さんの気持ちが分かりました。出産の時は辛いし不安だし、体重が少なかったらどうしようと心配なんだと分かりました。それと、生まれる時は、ぼくも自分で生まれようとする力と、お母さんの産もうとする力を合わせて、共同作業を成し遂げて生まれてきたと分かりました。だから、これからはこの命をくれたお母さんに感謝して、この命を自分で守っていききたいです。

(5-2) 『私の赤ちゃん 母からのメッセージ』

みなさんは「生かされている」とは、どういうことだと思いますか。私は、自然の力やこれまで命を受けつけてくれた人たちのおかげで、今生きることができていることだと気づきました。学習の前は、自分は「生かされている」のではなく「自分が生きている」と思っていました。しかし、お話に出てきた桜さんが心を動かされた自然の雄大さ、誕生の瞬間まで息をしていなかったという話、そして「生かされている」という詩、そのすべてに私も心を動かされました。今生きていられるのは当たり前ではなく、いろいろな人の支え、人や自然とのつながりがあるからなのです。私はこれから自分が「生かされている」ことに感謝し、できることを精いっぱい頑張りたいと思います。

(6-3) 『生かされている「大切な命」』



## 2年生 町たんけん



わたしは、町たんけんをして、田んぼにたくさんのなえがうえられていることに気がつきました。田んぼのなえがおこめになるなんてはじめて知りました。なえは、田んぼにきれいにいちれつにならなっていました。おもしろいなとおもいました。田んぼはとても大きかったです。町の中には、いっぱい田んぼがあって、すごいなと思いました。二学きの町たんけんに行ったときに、田んぼがどうなっているのか見るのがたのしみです。

(2-1)

わたしは、大としじんじゃで木を見ました。木はとても大きかったです。すぐくざらざらして、としをとっているのがわかりました。よく見たら、あながたくさんありました。上には、たくさんのはっぱがありました。また、みんなといっしょに町たんけんに行きたいです。かぞくともいっしょに行きたいです。

(2-2)

ぼくは、町たんけんについて大きな木を見つけました。大としじんじゃの木は、だいぶふるそうでした。よく見ると、なみのようなもようの木のかげらを見つけました。大としじんじゃの木は、ぼくの12人分ぐらいの大きさでした。また、大としじん社にくるときも、前見た木と、つぎきたときの木をくらべてみたいです。

(2-3)

## 6月18日~6月19日 4年生 野外活動



子どもだけでカレーを作るのは初めてだったので、心配だったけど、先生たちが手伝ってくださったので安心しました。わたしはじゃがいもを切る係でした。家で何度も練習しました。実際に食べると、子どもが作ったとは思えないくらいおいしかったです。焼き板工作では、焼き板に、「テキパキ行動」とかきました。なぜかという、毎日テキパキと行動することで自分を成長させたいからです。野外活動が終わったらすぐに自分の部屋にかざりました。来年は四泊五日の自然学校です。野外活動の成果が出せるように自分をもっとレベルアップさせたいです。

(4-1)

「やっとこの日がきた。」ぼくは、インドにいるときから、野外活動に行くのをとても楽しみにしていました。ぼくは、初めてカレーを作りました。みんなで協力し合って作ったカレーは、とてもおいしかったです。他の班が作ったカレーを食べたら、同じ材料を使っているはずなのに、それぞれちがう味がしました。この野外活動で、いっしょにごはんを食べたり、おふろに入ったり、焼き板作りをしたりして、今まで以上にみんながなかよくなれてうれしかったです。

(4-2)

2日間でいろんなことを学びました。1日目は、江井ヶ島海岸でビーチフラッグをしました。最初は「勝てるかな」と思っていたけど、砂浜は走りにくかったので負けてしまいました。でも、いい思い出になりました。野外炊飯では、ご飯はこげずに上手に炊けました。野菜は小さく切りすぎないようにしました。2日目の焼き板作りでは、炭を取るときに手や顔につきながらも最後はきれいな作品ができました。わたしは、この2日間で自立・共生・創造ができたと思います。5年の自然学校では、野外活動の時よりもがんばりたいです。

(4-3)

